

原発 ゼロ にむかって

2013年1月23日 No.41

http://www.tokyominiren.gr.jp/

編集・発行／東京民医連事務局 tel : 03-5978-2741 fax : 03-5978-2865 mail : sien@tokyominiren.gr.jp

アカシア会・健和会 三郷市への政策提言を提出

2012年11月29日、三郷市役所の会議室にてアカシア会理事長の大場敏明先生が代表を務める「放射線から子どもたちを守る三郷連絡会（※以下連絡会）」の医師・事務と、三郷市放射線対策室・室長との懇談を開き、連絡会から①三郷市内の市の責任による民有地の除染、②環境放射能と内部被曝の測定強化、③健診への補助について政策提言を行いました。

大場先生から「現在の計画は平成25年3月に終了となっているがその後はどうなるのか。公有地だけ除染が終わったとしても実際には民有地での除染はほとんど手がつけられていない。支援もない。これでは追加の被ばく線量を年間1ミリシーベルト以下に抑えるという目標は実現できない」という問いに対しても、市側は、平成25年4月以降の施策はこれから検討するが、民有地の除染については今のところ予定はないとの回答でした。また、市として土壌の汚染状態のきちんとしたチェックや、放射線の汚染により子どもの健康の不安を抱える親への健診の補助を検討してもらいたいということについても、市としての姿勢が見られる回答を得ることができませんでした。連絡会として今後も申し入れを検討しています。

三郷市長
木津雅房

平成24年11月29日

子どもたちの未来を守るために 今後の放射線対策の提言（その5）

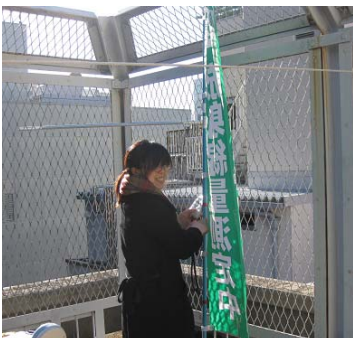
放射線から子どもたちを守る三郷連絡会・医師有志
代表 大場敏明

2011年3月11日の東日本大震災およびそれ引き続いて発生した東京電力福島第一原子力発電所の事故からすでに1年半以上の月日が経過しました。しかしながら関東地方の中で特に放射線汚染のはなはだしい三郷市（放射性物質汚染対策特措法による汚染状況重点調査地域）においては半減期が30年におよぶ放射性セシウム137等の影響により、年間1mSv以上の追加被ばくがあるという汚染状態が続いています。

この間私たちは4回にわたって市長あての提言を行いました。市の取り組みにより一定の成果を得たものもありますが、まだまだ汚染問題は解決していません。本年4月12日付けの第4回の提言において全体にわたる問題留めをしておりますが、今回は現在懸念されている課題を中心に提言いたします。

1. 市の責任による民有地の除染を明確に
2012年6月15日付で「三郷市除染実施計画」が公表されました。目標として「事故由来の放射性物質による追加被ばく線量（自然被ばく線量及び医療被ばく線量を除いた被ばく線量）を長期的に年間1ミリシーベルト以下にすることを目指します」とされ、達成時期は当面平成25年3月末を目標としています。
しかし実際には市による除染対象は事実上、保育所、幼稚園、小中学校・公園・通学路など子どもが生活する公的空間に限られています。市民の生活様式を考えた場合、公的空間で生活するのは1日の中の限られた時間です。私的空間の除染を怠ることでこの目標は達成できません。
三郷市と同じく汚染状況重点調査地域に指定されている川口市、柏市などの除染実施計画をみると、当面の早期の除染活動に地域住民の協力を要することがあるとしても、民有地の除染実施主体は基本的に市であると明記されています。これに比べると三郷市の除染計画には「特に子ども活動頻度の高い公共施設」以外は含まれておらず、民有地についてはマニュアルの提供と放射線測定機器の貸出という支援はあるとしても、除染作業に必要な資材や機材の提供すらなく、実施主体を全面的に市民に任せざるがごとき表現となっています。これでは事実上、民有地における除染作業はほとんど実施されないまま推察することが強く危惧されます。
またこれに関連して「長期的に」という表現は平成25年3月には実際には目標が達成できないことを見越しているようにも見られることから「達成時期は定めない」の意図にとれることがあります。このままでは三郷市はいままで放射線に汚染されたホットスポット＝「住みたくない都市」になってしまいます。市の責任による民有地の除染方針を明確にし、達成時期を明確に定め、そのための具体的実施プログラムを策定していただくよう求めます。

2. 環境放射能と内部被曝の測定の強化を
(1) 土壌の汚染状態を詳細に測定する必要があります
原発事故発生時から1年半を経過した今、地域別の放射線汚染状態を見る指標は土壌汚染に



芝病院放射線量定時定点測定

芝病院では、2011年の12月から毎月第1金曜日の午後に放射線量の定時定点測定を行っており、30年という長い期間を想定して、かつムリをしないということで、半年ごとの分担表を作って各職場交代で測定しています。雨が降ったら延期をせずに中止しています。スタート時に線量の高そうな地点を4点に絞り、その4点を毎月測定を続けています。報告は東都協議会のグループウェア（デスクネッツ）を活用して、法人の全職員に配信しています。

港区は全体的に放射線量の高い地域ではないのですが、1年以上測定してわかったことは、「放射線量は下がらない」ということです（写真と表は2013年1月4日の測定のもの）。芝病院 池田孝治

放射線量モニタリング記録表		測定者		測定値					測定装置		
		1月4日		測定値 (μSv/H)					Rad (PA-1000) シンチレーション式		
		新井 (健康部)		測定値 (μSv/H)					平均測定値 (μSv/H)		
		池田 (本部)		第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	平均	年間換算値 (mSv/年)	
測定場所 (各測定地点)	芝病院 (1階出入口)	土 舗	アスファルト	1m	0.04	0.05	0.04	0.04	0.04	0.04	
		溝を流す	コンクリート	50cm	0.04	0.04	0.06	0.06	0.06		
		水たまり	()	5cm							
1 芝病院 屋上	土 舗	アスファルト	1m	0.080	0.077	0.070	0.068	0.069	0.073		
	溝を流す	コンクリート	50cm	0.081	0.072	0.071	0.065	0.067	0.071	0.078	
	水たまり	()	5cm	0.102	0.082	0.081	0.078	0.084	0.089	0.408	
2 芝病院 屋上 植え込み(花壇)	土 舗	アスファルト	1m	0.065	0.064	0.063	0.062	0.061	0.063		
	溝を流す	コンクリート	50cm	0.076	0.073	0.070	0.067	0.067	0.071	0.071	
	水たまり	()	5cm	0.077	0.082	0.083	0.078	0.077	0.079	0.373	
3 芝病院 職員通用口	土 舗	アスファルト	1m	0.108	0.100	0.094	0.101	0.103	0.101		
	溝を流す	コンクリート	50cm	0.099	0.106	0.120	0.104	0.097	0.105	0.102	
	水たまり	()	5cm	0.104	0.106	0.102	0.094	0.095	0.100	0.537	
4 芝病院 入り口前植え込み	土 舗	アスファルト	1m	0.105	0.101	0.097	0.093	0.096	0.098		
	溝を流す	コンクリート	50cm	0.137	0.116	0.108	0.104	0.105	0.114	0.118	
	水たまり	()	5cm	0.128	0.147	0.147	0.141	0.141	0.141	0.619	
5	土 舗	アスファルト	1m								
	溝を流す	コンクリート	50cm								
	水たまり	()	5cm								
6	土 舗	アスファルト	1m								
	溝を流す	コンクリート	50cm								
	水たまり	()	5cm								

特記事項
 ・放射線量に変化はありません。
 ・病院前の歩道の植え込みも高いです。
 ・芝病院7階の室内はずーっと0.03～0.010μSv/Hです。